

KPI（重要業績評価指標）に関する補足

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

◆四万十川の保全と資源活用による地域活性化プロジェクト

KPIの内容	単位	当初値	R3	R4	R5	R6	R7
①ネット販売利用事業者の 販売金額	万円	0	200 203	1,200 0	2,700 174	4,200	5,200
②四万十川関連観光客及び 宿泊者数	人	638,000	641,000 537,853	653,000 615,376	660,000 592,477	667,000	673,000
③アユ漁獲量 （上流淡水漁協取り扱い分）	kg	1,300	1,300 1,386	1,400 1,799	1,600 1,907	1,700	1,800
④体験イベント参加人数	人	0	100 72	150 105	200 223	250	300

※各年度の上段＝目標値、下段＝実績値

【KPIに関する補足】

①ネット販売利用事業者の販売金額

令和3年度にインターネット販売推進協議会を設立し、ECサイト※による販売を開始。本稼働の約4年後（地域再生計画の計画期間内）までに、自立運営可能な売上5,000万円を目指すもの。初年度は、協議会及びECサイトの設立がメインとなるため、200万円と設定し、その後は1,000万円ずつ売上の向上を目指すこととして設定。

※ECサイト（インターネット上で商品やサービスを販売するウェブサイトの総称）

②四万十川関連観光客及び宿泊者数

四万十川が、どの程度に活用資源となっているか測る指標として設定。当初値には、令和2年度の実績（見込み）を設定。その後は、令和3年度に15,000人、令和4年度に12,000人、令和5年度以降は5,000人ずつ増加する目標としている。

③アユ漁獲量（上流淡水漁協取り扱い分）

四万十川の活用資源の1つであるアユの漁獲量に注目し、指標として設定。本町で唯一アユの受け入れを行っている四万十川上流淡水漁協における取扱量を指標とする。四万十川保全計画において、令和8年度の目標値を2,000kgと設定していることから、令和2年度の実績値である1,300kgから令和8年度（ゴール）への推移を100kg単位で目標値として設定。

④体験イベント参加人数

川での体験イベントの参加人数の増加は、四万十川と直接関わった人数を測る指標を設定。目標数値としては、四万十川振興室で実施するアユ友釣り体験や高知大学との連携事業における川遊びイベント等の目標として200人、学校教育課が実施する川ガキ体験の目標100人を最終目標としてKPIを設定。

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ・地方創生拠点整備タイプ）

◆三島キャンプ場リニューアル整備事業

KPIの内容	単位	当初値	R5	R6	R7	R8	R9
①施設の利用者数	人	1,324	1,324 368	2,263	2,372	2,488	2,612
②体験メニューの利用者数	人	0	0	226	237	249	261
③施設の売上金額	kg	771,450	771,450 221,502	3,343,040	3,504,910	3,676,400	3,858,520
④今後もこの町と関わりたい 人数（アンケート）	人	0	0	180	189	199	209

※各年度の上段＝目標値、下段＝実績値

【KPIに関する補足】

①施設の利用者数

本事業の実施の先にある町としての最終的な目的は、関係人口や移住者の増加であるが、本事業はそこにつなげるための「種まき」的事業であり、本事業の結果をもって最終的な目的を果たしたかどうか判断するのは難しい。そこで、交流人口の数は、最終的な目的である関係人口や移住者数に影響するとの考えから、KPIとして設定したもの。当初値における本施設の稼働率は約6%となっており、稼働初年度となる令和6年度は稼働率10%で設定。その後は、年に5%ずつ利用者数が増加するものと設定。（当施設の事業戦略より引用、テントサイトやバンガローなど、施設ごとに利用者数を計算のうえ合算しているため、端数処理の関係により単純に5%増加した数値とは一致しない。）

②体験メニューの利用者数

本町ならではの体験ができることが本施設の目玉であり、ここでの体験がその後の関係人口や移住者数に影響する可能性もあることから、KPIとして設定。利用者数の10%を目標値として設定している。

③施設の売上金額

本町ならではの体験ができることが本施設の目玉であり、ここでの体験がその後の関係人口や移住者数に影響する可能性もあることから、KPIとして設定。利用者数の10%を目標値として設定。

④今後もこの町と関わりたい人数（アンケート）

本施設利用後の利用者の意識は、最終的な目的である関係人口や移住者数の増加に大きく影響するものであることから、KPIとして設定。数値については、体験メニューの利用者数の80%で設定。

【KPI設定における誤りについて】

本事業は、三島キャンプ場の再整備であることから、建設期間中は休業となる。しかしながら、令和5年度の目標値については、本来休業期間を差し引いたものにしなければならないところ、誤りにより前年度（当初値）と同じ数値での設定となっている。このため、目標値と実績値が大きく乖離している。